

釧路高専だより

信頼・努力・明朗



電子工学科



今年で2回目の高専見学会は、...の
中学校20校から生徒260人が参加し、去る8月17
日月から21日迄まで計5回実施した。
見学会では、中学生に高専の内容等を知ってもら
うため、
科の実験室
見学中、
各実験室で
明を熱心に
見学を終
たいとの声

今年で2回目の高専見学会は、...の
中学校20校から生徒260人が参加し、去る8月17
日月から21日迄まで計5回実施した。

見学会では、中学生に高専の内容等を知ってもら
うため、
科の実験室
見学中、
各実験室で
明を熱心に
見学を終
たいとの声



や計算機など電子工学の応用に関
する研究に従事いたしました。昭
和二十五年北大に電子工学科が設

春季大会結果

5月、釧路市で行われた春
球大会新棋支部予選大会で、
戦った。世室西高校、豊津高校、
たあと釧路工業高校に1-3で

春季大会結果

【1回戦】

根室西 000 00 (5)

高 専 432 7x

【2回戦】

高 専 444 24 (5回)

橋 津 000 10

【3回戦】

4年7月13日

私は、汗をかき...
は、すっかりじめじめした地になじんでしまった。
まきで炊くごはんは少し堅かったけどおいしか





Contents

学校行事予定	14
「津波警報発令！あなたは避難しますか？」	13
シリーズ科学の読み物	13
トピック	12
～道内大学と学術交流協定を締結～	
～トランポリン競技で全国大会進出～	
クラブ紹介	11
～書道同好会～	
追悼	10
～故東正慶先生を偲んで～	
釧路高専だより	100
～バックナンバー表紙特集～	7
～ようこそ日本へ！～	6
～留学生紹介～	6
～新入生からのコメント～	3
～教務主事からのメッセージ～	2



○表紙

過去の釧路高専だよりを順不同に切り貼りしたもの。
なお、タイトルデザインは当時の復刻版。

①昭和62年9月【第28号】

夏季合宿研修(通称「サマーキャンプ」)と市内中学生を対象とした高専見学会

②平成元年3月【第32号】

平成元年度学校行事予定

③平成5年3月【第44号】

平成5年1月15日釧路沖地震の被害状況
(図書館書架転倒)

④昭和45年9月【第2号】

各科めぐり(各学科等の紹介)

⑤昭和48年6月【臨時号】

二代校長(仲丸由正先生)就任にあたって

⑥平成4年7月【第42号】

スポーツコーナー

技術者を目指す。勉強する。

教務主事 電子工学科 教授 中村 隆

MESSAGE

教務主事からのメッセージ

1年生諸君は「2段階学科選択制度」をどのようにとらえているのでしょうか。自分の好きな道に進むための第一歩として、まず希望する学科に進級することとは重要です。ものづくり基礎では全ての学科を体験的に学習することを、2回繰り返します。釧路高専を受験した時の考えがそのまま続くか、中学校で考えていた学科像と経験してみた印象が違わないか、しっかりと考えてください。この制度は1年生諸君が2年生に進級する時に学科を「選択」できるとい制度です。

「後悔先に立たず」という諺があります。後で「〇〇にしておけば良かった」という思いにならないようにしましょう。

2年生諸君は、学科選択を経てクラスが「学科」で呼ばれるようになりました。クラス替えをしたようなものですが、4月初めのうちは新しいクラスに戸惑いもあったことと思います。これからの4年間、自分が選択して、あるいは納得して進級した学科で、しっかりと勉強し技術を目指してください。

上級生諸君は、自分の将来に目を向けてください。昨今の就職難の中、釧路高専は相変わらず高い求人倍率を誇っています。しかし、今年度は就職試験で落とされる割合が増えています。世界的な不況で企業は先行きが見えないというこ

とが、もちろん影響しているでしょう。しかし、それとは別に、学生個々人の「能力」が厳格に評価されているという側面もあります。

昔のように「高専だから採用します」という企業がなくなり、「高専・大学に関係なく、優秀な人材を採用します」に変わってきました。さらに、就職難のために、大学生の「必死さ」は高専生と比べ物になりません。適性検査、面接、自己アピール等、準備万端で就職試験に臨んでいます。

この競争に勝つために、学生諸君にできることは「自分を磨く」ことしかありません。基本的には「勉強しなさい」ということです。「学生」という立場にいる限り、そして「高専卒業」という資格がほしいなら、勉強して修得単位を積み重ねることが学生諸君の「仕事」なのです。授業内容でわからないことがあれば、自分で考え、友人に聞き、先生に質問する。当たり前の解決方法をちゃんと実行する事です。わからないことを放置しても何の解決にもなりません。毎日々々の努力を5年間積み重ねることによって、卒業というゴールが見えてくるのです。

さらに、高専を卒業して就職できたからと言って、「技術者」になるわけではありません。技術者になるためのスター

ラインに立つことが出来た、という程度です。学校のようにテストの点数で評価されることはありませんが、業績による評価が始まります。評価は直接的に給料に反映されますから、自分の生活は毎日の努力如何で決まります。毎日の努力とは、結局、「勉強」です。就職してからは、自分のお金を自分に投資して自分を磨くことが重要です。

釧路高専には、企業経験を持つ先生もたくさんいます。技術者として生きるといのはどのような事なのか、企業で働くためには何が必要なのか、ぜひ聞いてみてください。

夏休みは家族と深く話し合うことのできる良い機会です。特に、寮生・下宿生諸君は久しぶりに自宅でゆっくりと過ごすことが出来ます。是非、この機会に将来について家族と話し合ってください。

MESSAGE

新入生からのコメント



高専での生活について

一年一組 前崎 琴音

高専に入学してから2ヶ月が過ぎました。最近では、通学や高専の生活にも慣れてきて楽しく過ごしています。

高専の勉強は進むスピードが速く、ついていくのが大変です。分からないことがあったらすぐに解決するように、先生や友達に聞いて毎日頑張っています。

クラスのみんなも高専に慣れてきた様子で、授業の一つ一つに真剣に取り組み、挨拶も元気良くしています。休み時間は仲良く話をしていてとても良い雰囲気です。過ごしています。クラス単位で行う行事がこれから色々あるので、行事を通してもっとクラスの団結力を深めていきたいと思っています。

来年からは学科も決まるので、自分の希望している学科に入れるように頑張りたいです。そして専門的な勉強にもしっかりとついていけるように、部活と両立しながら努力していきたいと思っています。

新入生になって

一年二組 木村 洸太

もうすぐ高専に入学して2ヶ月が経過しようとしています。

入学したばかりの頃は不安だらけでした。

勉強についていけないのか。

寮生として、親元を離れて一人で生活できるのか。

中学校と違って人数が多いこの学校で友達ができるか。

しかし、1ヶ月が経過した頃には寮生活や勉強にも少しずつ慣れはじめ、信頼できる友達もたくさんできるようになりました。

この学校では、入学した人のことを「生徒」ではなく「学生」と呼びます。

最初は慣れませんでした。少しずつこの呼び方にも慣れてきました。

6月には定期試験があります。

特に数学はAとBのテストがあるので、これら両方が赤点にならないように頑張りたいと思います。

今の学校生活はとても楽しいですが、ここで油断せずに、真剣に、勉強に頑張ろうと思います。

高専に来て

一年三組 江口 遙香

「気がついたら2ヶ月も経つんだね。」
つい最近友達と話していたときの言葉
です。それほど時が経つのが早く感じま
した。

学校生活は充実していて、違うクラス
でも友達が沢山でき、休み時間には各教
室を飛び回っています。毎日学校に来る
のがとても楽しくて、眠れない日々もあ
りました。

勉強の方も困ることがありません。

私が初めて先生に質問しようとした
時、「そんなことも分からないのか」と
いうような目でみられたら嫌だな、など
と思っていましたが、そんなことはなく、
分かりやすく教えてもらい、逆に驚きま
した。

部活動の方は、女子バレー部に所属し
ていて、3年生と5年生の先輩がいます。
中学校の時とは違い5年生がいるので最
初は不思議な感覚でしたが、先輩がとて
も優しく、面白いので、次第に楽しくな
ってきました。

友達や先生、先輩がいてこそその、この
学校生活。これからも楽しみ、努力して
いきます。

高専に入学して

一年三組 山田 莉香子

不安ばかりを抱え入学してから2ヶ月
程が経ち、やっとこの学校にも慣れてき
ました。友だちが出来るかどうかという
不安も消え去り一段落しています。です
が落ち着いたからこそ見える不安もあり
ました。

「勉強と自律」……勉強では数学の授
業の進行の速さに驚きました。元々得意
な教科ではないこともあり、授業だけで
理解するのが少し難しくなってきました
た。家での自主学習がとても重要になる
ことを痛感しています。自律では学生へ
の縛りのなさにまた驚きました。自由が
多いからこそ他力本願にならずに自分で
考え行動することは、今までにあまり経
験したことがなかったので、私には少し
難しいことだと思いました。ですが、難
しいからといって放り投げるのではな
く、少しずつでも自力でやっていけるよ
うに色々なことに挑戦していきたいで
す。

今はまだ具合が分からず周囲に合わせ
て走っている状態ですが、だんだんと自
分だけのペースを見つけ、こつこつと頑
張りたいです。

高専での生活

一年四組 稲邊 秀斗

釧路高専に入学してからあつという間に2
ヶ月が過ぎました。入学式をむかえるまで、
新たな環境の中で自分がうまくやっていける
かという不安がたくさんありました。しか
し、入学後すぐに新入生オリエンテーショ
ンがあり、友達がたくさんできたり、勉強につ
いての説明などを聞けたりと、とても充実感
を得ました。オリエンテーションのおかげで
不安が期待とやる気変わったような気がし
ます。実際に授業が始まると勉強の進むスピ
ードはとても速く感じたので、中学校の時と
同様に予習や復習をしなければならぬと思
い、毎日勉強するように心がけています。僕
は地元出身ではないので寮に入っています
が、寮は先輩が怖く、規則がたくさんありと
ても厳しいイメージを持っていました。です
が実際に入寮してみると、とても優しく話し
やすい先輩ばかりでこれからも充実した寮生
活を送れそうです。高専にはたくさんの部活
や同好会があり選ぶのにとっても悩みまし
たが、4月の体験入部期間にいろいろな部活
を体験して見学できたので良かったです。僕が入
った学生会は高専祭をメインにいろいろな活
動をしています。そして学生会の先輩たちも
何でも相談できる人ばかりです。これからは
勉強と学生会の活動を両立しながらがんばっ
ていきたいと思っています。

高専に入学して

一年五組 中出 雄大

僕が高専に入学してから、約2ヶ月が
過ぎました。入学した当初は高専の生活
に慣れていけるか、勉強についていける
か、友達がつくれるかなど色々心配なこ
とがありました。しかし、オリエンテー
ションを通じて高専のことや勉強のこと
を知り、友達もちゃんとつくることがで
きました。でも勉強についてはまだ心配
なこともあります。特に数学が難しく、
授業の進み具合が速いので大変です。で
すが、1年5組には困ったときに助けて
くれたりと、頼りがいのある人がいるの
で、分らないときには教えてもらって
りして、勉強を進めています。

また、新聞委員会に参加していて、イ
ンタビューや記事を書いたりなど、大変
なことがたくさんあります。ですが、先
輩に助けってもらいながら活動をしてい
て、先輩方も積極的に仕事をこなしてい
て毎日が充実しています。

これからは勉強もより難しくなると思
うので、日々努力をしていき、5組のみ
んなと一緒に進級できるようにこの1年を
頑張っていきたいと思っています。

専攻科に入学して

建設・生産システム工学専攻一年 仲田 英明

就職や進学を決める5年生になったとき、もっと自分の知識を増やし、いろいろな経験を積み重ねたいという理由から、私は専攻科に入学しようと思いました。さらに、専攻科での特別研究では、2年間の長い時間での取り組みができるので、じっくりと追究したいという強い気持ちを持っています。

4月に専攻科に入学して、本科との違いは、今まであったクラスの教室がないことです。そのため、5つある教室を移動しながら授業を受けるシステムになっています。私が所属する建設・生産システム工学専攻のクラスは15人ですが、1年生の授業は電子情報システム工学専攻の学生との共通科目が多く、40人程度で授業を受けることが多いです。授業時間は1、2時間目がない日もあり本科生のときよりは楽になった気がしますが、本科のときには学習しなかった暗号化などの情報系の科目や、設計支援システムなどの建築系の科目も修得しなければなりません。最初は、私は機械工学科の出身なので、機械関連の授業は理解しやすいのですが、他の専門科目が難しく、授業についていけなくなるのではないだろうかと内心不安でもあります。

専攻科に入学して

電子情報システム工学専攻一年 熊山 彩子

しかし、本科生のときには知らなかった他の専門分野の話を聴いていると、思わず感心してしまうことが数多くあり、自分の視野を広げることが役立っています。そして、機械関連の授業では、今までに学んだ知識の復習に加え、新しく深い分野の話などを聴くことができ、とても参考になっています。

このように、専攻科での勉強は複数の専門分野にまたがるので、幅広い知識を身につけたいという人にお勧めできると思います。また、時間的にも本科より余裕があるため、自分の将来についてじっくりと考えることが出来るのではないのでしょうか。

私は、本科の電子工学科を卒業後、専攻科に入学しました。大きな環境の変化がないため本科の延長だと思っていましたが、実際はとても新鮮な気持ちで過ごしています。

本科とは違い、専攻科では単位数を考慮自分で授業を選択します。また、学級担任がいらないため、連絡等は掲示板で確認するなど自己管理をしつかりする必要があります。授業は、電気・情報工学科の専門科目を受講することはもちろん、機械・建築学科の専門科目も受講しています。他学科の専門科目は、理解に苦しむことが多くありますが、わからないことはその学科出身の友達に聞いて乗り越えています。友達が専門分野をスラスラ答えてくれたとき、本科で学んだ5年間自分たちの力になっていることを実感しました。

専攻科の2年間で、より高度な技術を学び、専門知識の幅を広げることで応用能力を身につけたいと思っています。また、多くの先生と関わることで、たくさんの方や意見に触れることができるため、視野を広げていきたいです。

日常のひとコマ



MESSAGE

ようこそ日本へ！ 留学生紹介



マレーシアと 日本の文化

3年電子工学科
ヌル ファディラー

私はマレーシアから来たファディラーである。今、3年電子工学科で勉強している。マレーシアでは2年間ぐらい日本語を勉強していて、今年の3月30日初めて日本に来た。釧路に来たばかりの時、初めて雪を見て、とても寒かった。マレーシアと日本の文化は全く違うから、たくさん日本の文化を学ぼうと思う。料理も自分の国と違うが、日本の料理が大好きだ。例えば、寿司や刺身やてんぷらやそばである。今はもう二か月ぐらい釧路にいて、生活のことと釧路の寒さにだんだん慣れるようになってきた。私は茶道部と空手部に入って、本当に楽しい。勉強は大変だが、先生方が優しくしてちゃんと説明してくれるし、チューターと友達もたくさん教えてくれるので、よかった。マレーシアでは3つの主な人種があり、マレー系と中国系とインド系である。その他はイバン、カダザン、バジャウ、ペナン、いろいろある。だけど皆一緒に平和に住んでいて、一つのマレーシアを作った。人種がいろいろあるから、お祭りがいっぱいあり、料理もそうである。マレーシアは東南アジアにあり、1年中暑い国である。一番有名な建物はツインタワーで、1998年から2004年まで世界一高い建物になった。これからいろいろなることを勉強したいと思っていますので、よろしくお願いたします。



学んだことを母国の 発展のために使いたい

3年情報工学科
ゴンボルデーヴ エンフバヤル

私はモンゴルから来ましたエンフバヤルと申します。モンゴルでは高校を卒業して、モンゴル国立科学工業大学に行っていました。大学2年の前期が終わって、後期が始まる前に来日しました。日本に来て東京日本語学校で1年間日本語の勉強をしました。日本に来たばかりのころは日本語があまり上手ではなくて不安でしたが日本語学校の先生たちのおかげで日本語がわかるようになりました。それから漢字も読めるようになりました。しかし、まだまだ知らない文法や漢字がたくさんあります。

さて、日本語学校を卒業して、今年の4月から釧路工業高等学校の情報工学科の3年生に編入しました。高専に来てから2ヶ月経っています。始めはいろいろ大変でしたが今はだいぶなれました。授業は前に勉強したことがあるものもありますが、まったく知らないものもありますのでこれからがんばりたいと思います。特に日本語や文法的な科目をたくさん練習したいと思います。



日本語を 勉強したい

3年建築学科
オク ウイチット

私はカンボジアから来たウイチットです。カンボジアはお寺がとても有名で、特にアンコールワットというお寺は世界遺産にも登録されています。アンコールワットは夕日が当たるころが一番きれいです。

去年の4月に日本に来て、東京日本語教育センターで1年間日本語の勉強をしました。カンボジアでは電車がほとんどなく東京に来た時電車がたくさん走っていてびっくりしました。電車の乗り方もわからず迷ったこともあります。

高専に来る時、日本人と勉強をしたことがなかったのでとても不安でした。「みんなが優しいかな」とか「日本語が通じるかな」とか「先生が厳しくないかな」と考えていました。高専に来てみんなが本当に優しくよかったです。でもまだ日本語はうまく話せません。専門などの授業では先生の言っている言葉が聞いたことのない言葉ばかりでも難しいです。専門用語がいっぱいあって、「なにこれ？」と思うし、英語に訳してもわからない言葉もあります。友達が一生懸命に説明してくれてもわからないこともあります。なのでこれからは一生懸命に日本語を勉強していきたいです。そして日本語で日本のみんなと一緒にしゃべりたいです。皆さんこれからもよろしくお願いたします。

釧路高専だより100号記念 バックナンバー表紙特集

釧路高専だよりは、昭和45年に創刊号が発行されて以来、今更でついに100号を迎えました。そこで100号記念特集として、過去に発行された釧路高専だよりの表紙を紙面の許す限り掲載し、その歴史を振り返ってみたいと思います。

(1) 創刊号 釧路高専だより 昭和45年3月14日

創刊号
 釧路工業高等専門学校
 釧路市大森町128
 〒541-8541
 電話 0957-8838
 印刷 印刷組合印刷部
 (編者 初代校長 塚)



信頼・努力・明朗

この創刊号は、本校の創立50周年を記念して発行されたものである。本校は、戦後復興の途程に際し、国家の要請に応じ、1945年3月に創立された。創立以来、50年が経過した。この50年間に、本校は、社会の発展と共に歩み、多くの卒業生を送り出した。この創刊号は、本校の歴史を振り返り、今後の発展を期すものである。創刊号の発行に当たっては、関係者の御協力に感謝する。

そのころのこと
 校長 塚 光雄

この創刊号は、本校の創立50周年を記念して発行されたものである。本校は、戦後復興の途程に際し、国家の要請に応じ、1945年3月に創立された。創立以来、50年が経過した。この50年間に、本校は、社会の発展と共に歩み、多くの卒業生を送り出した。この創刊号は、本校の歴史を振り返り、今後の発展を期すものである。創刊号の発行に当たっては、関係者の御協力に感謝する。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

1. 創刊号

(昭和45年3月発行)
 記念すべき創刊号
 表紙。坂元初代校長
 による釧路高専開校
 の所感が綴られてい
 る。

(1) 第22号 釧路高専だより 昭和59年9月30日

第22号
 釧路工業高等専門学校
 釧路市大森町128
 〒541-8541
 電話 0957-8838
 (編者 初代校長 塚)



信頼・努力・明朗

この創刊号は、本校の創立50周年を記念して発行されたものである。本校は、戦後復興の途程に際し、国家の要請に応じ、1945年3月に創立された。創立以来、50年が経過した。この50年間に、本校は、社会の発展と共に歩み、多くの卒業生を送り出した。この創刊号は、本校の歴史を振り返り、今後の発展を期すものである。創刊号の発行に当たっては、関係者の御協力に感謝する。

新入生諸君へ
 校長 塚 光雄

この創刊号は、本校の創立50周年を記念して発行されたものである。本校は、戦後復興の途程に際し、国家の要請に応じ、1945年3月に創立された。創立以来、50年が経過した。この50年間に、本校は、社会の発展と共に歩み、多くの卒業生を送り出した。この創刊号は、本校の歴史を振り返り、今後の発展を期すものである。創刊号の発行に当たっては、関係者の御協力に感謝する。



サマーキャンプ

3. 第22号

(昭和59年9月発行)
 黒部三代校長によ
 る新入生へのメッセ
 ージが載っている。
 下の写真は当時行わ
 れていたサマーキャ
 ンプ。当時の記事に
 よると、キャンプは
 足寄町にあるオンネ
 トーで行われ、キャ
 ンプ場で見つけたザ
 リガニを食べた学生
 もいたとか。

(1) 第16号 釧路高専だより 昭和56年9月30日

第16号
 釧路工業高等専門学校
 釧路市大森町128
 〒541-8541
 電話 0957-8838
 印刷 印刷組合印刷部
 (編者 初代校長 塚)



信頼・努力・明朗

開会式

選手宣誓
 (SA・片岡武夫)

第16回北海道地区国立高等専門学校体育大会

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

2. 第16号

(昭和56年9月発行)
 第16回北海道地区
 国立高等専門学校体
 育大会が釧路高専主
 管で開催された。対
 面式では、各校応援
 団によるエール交換
 や挑戦状・応援状披
 露なども行われた。

昭和63年3月15日 釧路高専だより 第29号 (1)

第29号
 発行
 釧路工業高等専門学校
 釧路市大森町128
 〒541-8541
 電話 0957-8838
 (編者 初代校長 塚)



信頼・努力・明朗

情報工学科校舎

卒業生諸君へ	2	教 育 通 信	34
卒業生に贈る	2-3	留 学 生 日 記	35
5年間の思い出	4-5	表 決 会 だ よ り	36
社会人として「先輩からの贈り」	5-6	学 業 報 告	37
父親から「卒業にあたって」	6	学 生 会 報 告	38
昭和62年度就職状況について	7-9	工 事 報 告	39
教授会 情報工学科校舎の竣工を祝して	10	健 康 だ よ り	40
情報工学科校舎竣工記念祝賀会	10-19	電 子 計 算 機 だ よ り	41-49
情報工学科校舎竣工	11	人 事 報 告	50
行 事 報 告	12-13	急 知 報 告	51
学生会から	13	諸 君 後 記	52

4. 第29号

(昭和63年3月発行)
 情報工学科校舎
 (現「3号棟」)が竣
 工された。情報処理
 実験室には、当時最
 新鋭のパソコンが48
 台設置されており、
 釧路市内随一の設備
 が揃っていたとい
 う。

第 54 号
1999年(平成11年)7月発行
信濃工業高等専門学校
〒387 0001 長野県上水内郡千代田町千代田
(編集: 信濃工業高等専門学校)

第54号 卒業式(平成11年6月8日)

目次	次
「信濃工業高等専門学校」の沿革	1
「信濃」の由来	2
「二つの山」の由来	3
卒業式(平成11年6月8日)	4
卒業式(平成11年6月8日)	5
卒業式(平成11年6月8日)	6
卒業式(平成11年6月8日)	7
卒業式(平成11年6月8日)	8
卒業式(平成11年6月8日)	9
卒業式(平成11年6月8日)	10
卒業式(平成11年6月8日)	11
卒業式(平成11年6月8日)	12
卒業式(平成11年6月8日)	13
卒業式(平成11年6月8日)	14
卒業式(平成11年6月8日)	15
卒業式(平成11年6月8日)	16
卒業式(平成11年6月8日)	17
卒業式(平成11年6月8日)	18
卒業式(平成11年6月8日)	19
卒業式(平成11年6月8日)	20
卒業式(平成11年6月8日)	21
卒業式(平成11年6月8日)	22
卒業式(平成11年6月8日)	23
卒業式(平成11年6月8日)	24
卒業式(平成11年6月8日)	25
卒業式(平成11年6月8日)	26
卒業式(平成11年6月8日)	27
卒業式(平成11年6月8日)	28
卒業式(平成11年6月8日)	29
卒業式(平成11年6月8日)	30
卒業式(平成11年6月8日)	31
卒業式(平成11年6月8日)	32
卒業式(平成11年6月8日)	33
卒業式(平成11年6月8日)	34
卒業式(平成11年6月8日)	35
卒業式(平成11年6月8日)	36
卒業式(平成11年6月8日)	37
卒業式(平成11年6月8日)	38
卒業式(平成11年6月8日)	39
卒業式(平成11年6月8日)	40
卒業式(平成11年6月8日)	41
卒業式(平成11年6月8日)	42
卒業式(平成11年6月8日)	43
卒業式(平成11年6月8日)	44
卒業式(平成11年6月8日)	45
卒業式(平成11年6月8日)	46
卒業式(平成11年6月8日)	47
卒業式(平成11年6月8日)	48
卒業式(平成11年6月8日)	49
卒業式(平成11年6月8日)	50
卒業式(平成11年6月8日)	51
卒業式(平成11年6月8日)	52
卒業式(平成11年6月8日)	53
卒業式(平成11年6月8日)	54
卒業式(平成11年6月8日)	55
卒業式(平成11年6月8日)	56
卒業式(平成11年6月8日)	57
卒業式(平成11年6月8日)	58
卒業式(平成11年6月8日)	59
卒業式(平成11年6月8日)	60
卒業式(平成11年6月8日)	61
卒業式(平成11年6月8日)	62
卒業式(平成11年6月8日)	63
卒業式(平成11年6月8日)	64
卒業式(平成11年6月8日)	65
卒業式(平成11年6月8日)	66
卒業式(平成11年6月8日)	67
卒業式(平成11年6月8日)	68
卒業式(平成11年6月8日)	69
卒業式(平成11年6月8日)	70
卒業式(平成11年6月8日)	71
卒業式(平成11年6月8日)	72
卒業式(平成11年6月8日)	73
卒業式(平成11年6月8日)	74
卒業式(平成11年6月8日)	75
卒業式(平成11年6月8日)	76
卒業式(平成11年6月8日)	77
卒業式(平成11年6月8日)	78
卒業式(平成11年6月8日)	79
卒業式(平成11年6月8日)	80
卒業式(平成11年6月8日)	81
卒業式(平成11年6月8日)	82
卒業式(平成11年6月8日)	83
卒業式(平成11年6月8日)	84
卒業式(平成11年6月8日)	85
卒業式(平成11年6月8日)	86
卒業式(平成11年6月8日)	87
卒業式(平成11年6月8日)	88
卒業式(平成11年6月8日)	89
卒業式(平成11年6月8日)	90
卒業式(平成11年6月8日)	91
卒業式(平成11年6月8日)	92
卒業式(平成11年6月8日)	93
卒業式(平成11年6月8日)	94
卒業式(平成11年6月8日)	95
卒業式(平成11年6月8日)	96
卒業式(平成11年6月8日)	97
卒業式(平成11年6月8日)	98
卒業式(平成11年6月8日)	99
卒業式(平成11年6月8日)	100

7・第54号
(平成8年7月発行)
第54号から待望のカラー印刷。今号は表紙のみであったが、その後表紙に続き裏表紙もカラー印刷となり、第69号から全面カラーへと移行した。

平成3年12月9日 信濃高専だより 第40号 (I)
発行
信濃工業高等専門学校
〒387 0001 長野県上水内郡千代田町千代田
電話(代表)(0254)57-8041
(編集: 信濃工業高等専門学校)

秋季校内体育大会(三人四脚)

目次	次
青春時代に成すべきこと	2
父母から	3
教師通信	4
特別講演	5
行事関係	6~7
サマーカーンプに参加して	7~8
馬学旅行に参加して	9
留学生日記	10
学業通信	11
クラブ・同好会等紹介	11
信濃だより	12
人事関係	12~13
新任教職員紹介	13
冬休みの心構え	14
NHK ロボコン	14
編集後記	14

5・第40号
(平成3年12月発行)
平成3年9月10日に秋季校内体育大会が行われた。表紙にある「3人4脚」の他に「ボールバトル」という競技があったそうである(詳細求めム！)

第 61 号
1999年(平成11年)9月発行
信濃工業高等専門学校
〒387 0001 長野県上水内郡千代田町千代田
(編集: 信濃工業高等専門学校)

新の登校風景

授業風景

◎: 英語(1,2,3年)・2年電気
◎: 電子工学実験・3年電気

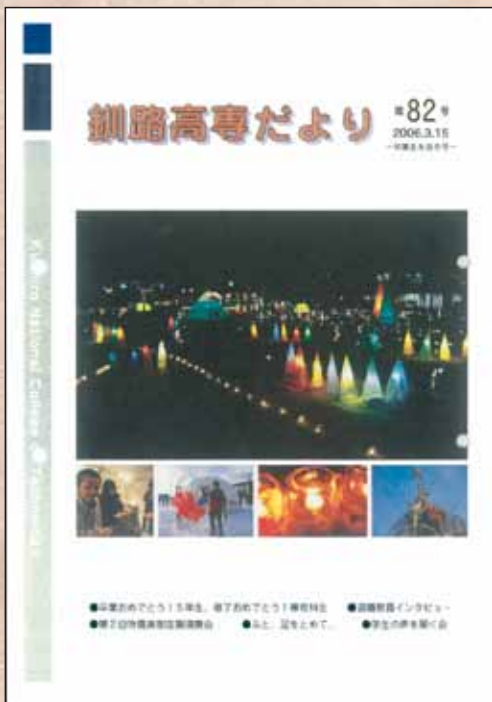
8・第61号
(平成11年9月発行)
10年前の登校風景や授業風景。当時の学生の様子がうかがえる。

平成7年3月15日 信濃高専だより 第50号 (I)
発行
信濃工業高等専門学校
〒387 0001 長野県上水内郡千代田町千代田
電話(代表)(0254)57-8041
(編集: 信濃工業高等専門学校)

アイスホッケーリンク完成

目次	次
信濃工業高等専門学校	1
信濃だより	2
特別講演	3
行事関係	4
サマーカーンプに参加して	5
馬学旅行に参加して	6
留学生日記	7
学業通信	8
クラブ・同好会等紹介	9
信濃だより	10
人事関係	11
新任教職員紹介	12
冬休みの心構え	13
NHK ロボコン	14
編集後記	15

6・第50号
(平成7年3月発行)
創刊号から数えて一〇〇号までの折り返し地点。編集後記によると、創刊号当初は9月と3月の年2回、第30号から原則7月、12月、3月の年3回の発行となったとのこと。



表紙は「くしろ雪あかりクリスマスイルミネーション」に参加した学生とその全景。色彩豊かな光が幻想的な雰囲気を作る。

(平成18年3月発行)

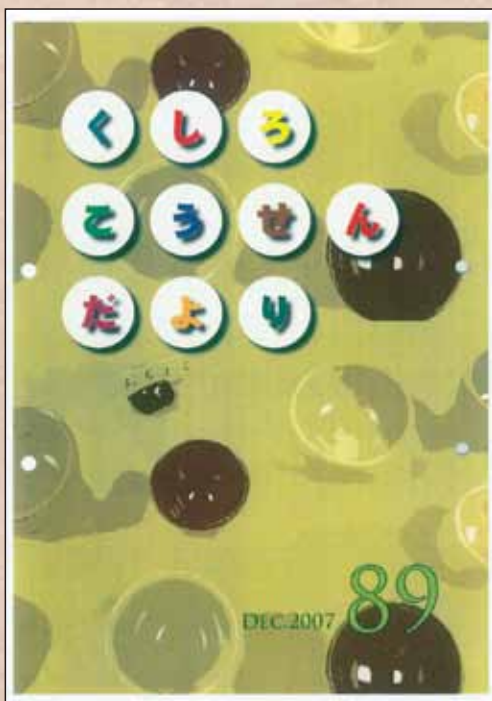
11・第82号



低学年棟（現「4号棟」）が竣工された。これにより教室は約1.4倍広くなり就学環境が大いに向上した。

(平成14年3月発行)

9・第68号



この個性的な表紙は学生の陶芸作品（おちよこ）をデザイン化したもの。また、ルービックキューブで釧路高専の学生が世界一になったり、デザインコンペティションで初入賞を果たしたりなど、ニュースに事欠かない年でもあった。

(平成19年12月発行)

12・第89号



この年から専攻科が設置された。第75号高専だよりでも専攻科に関する特集を組み、大きく取り上げた。

(平成16年6月発行)

10・第75号

追悼

故東正慶先生を偲んで



昭和四十七年春、私はいよいよ貴兄と相部屋生活を始めることになったが、聞きしに勝るものだった。部屋は薫製室のようであり、嫌煙という意識も希薄な時代であったので、私は当たり前のように紫煙に包まれ、苦楽を共にすることになった。

貴兄の第一印象は重量級の愛煙家であったが、ほどなくわかった真の姿は自由人であった。新米の私にも気取らず接してくれ、お陰ですぐ兄弟のような付き合いとなり、夜の繁華街に肩を組んで出歩くようにもなった。

しかし自由には責任が伴うものである。貴兄の自由は「いちいち言わなくても考えればわかる」という必要十分条件の上に成り立っていたのである。その意味で貴兄は真の教育者であった。学生たちにはまず自分で考えることを厳しく求めた。授業では少し滑稽な言動で学生たちを爆笑の渦に巻き込んでいたことから、気軽に答を教えてもらおうと思って来た学生はその厳しさに驚いたに違いない。

しかし自分でよく考えた末での質問

には懇切丁寧に応じていた。貴兄が数学に寄せる情熱には人並み以上のものがあった。本校でも学生運動の激しかった頃、教室に数学ロボットと大書されたことを貴兄は勲章だと言っていたこともある。研究分野での緻密な計算と論証に全神経と体力を消耗していた

が、外にはそれを露ほど見せず、偉い先生と見られることを嫌っていた。風体にはあまり気を配らないことから、新入生が貴兄をどこかの用務員と見間違ったことがよくあり、むしろそれを喜んでいただけである。人を見かけて判断してはいけないことを、身をもって実践し、その意味で貴兄は反面教師でもあった。このような気さくな外見と厳格な内面との間で、ときに表出する行動の途方もない落差に戸惑う人は

多かったであろう。しかしその突拍子もない行動は本人にとって何ら矛盾するものではなく、むしろ誰も思いつかない発想の原動力であった。それによって得られた研究成果は数えきれないほどあり、また教育の面でも学生たちを飽きさせない授業展開となって表れ

た。強烈な個性を持った貴兄は本校の名物先生の一二を争う存在であり、今もなお強い印象をもって思い出す卒業生は多い。

波乱万丈に満ちた七十年と三ヶ月の人生はあまりに短かった。

ようやく自由人となる日を迎える私が貴兄とこれからさらに愉快な付き合いができると思った矢先の旅立ちだった。安らかな眠りを心から祈る。

一般教科(数学) 教授 林義實

※故東正慶先生は、従四位瑞宝小授章に叙せられました。

書道同好会

書道同好会は、平成14（2002）年に結成されました。中学校まで、書写の時間や書道塾での練習をとおして（書）の愉しさにふれていた学生が、高専でも筆を持つ機会があればということで、当時の1年生有志5名が立ち上げた同好会です。

現在の会員は1年生3名、5年生3名の6名、顧問を建築学科の大槻香子先生と一般教科・国語の館下が務めています。活動日は週に1日です。今年度前期は金曜日の放課後午後3時30分ころから始めています。活動の内容は、それぞれの技量や目指すところによつてさまざまです。墨を磨り、運筆の基礎を学ぶこと、篆刻に親しむこと、古典作品の臨書に挑戦することなど。高専祭では、小さなコーナーでは



ありますが、作品を展示して、皆さんにご覧いただいています。過去には、高校生が参加するコンクールに出品した学生もいました。半切（はんせつ）と呼ばれる、35センチメートル×135センチメートルの大きな紙に作品を書き上げるには、相当な集中力や根気が要ります。書く愉しさとともに、そのような緊張感溢れる時間を経験する。と（書）に対する思いも深まるようです。とはいっても、技術や理論は二の次にして、とにかく毛筆で字を書くという、あまり味わえない感覚に浸ってもらえればいいと考えています。（書）に興味のある方は、どうぞ気軽に参加してみてください。

文責 一般教科（国語）准教授
館下 徹志

平成22年度 北海道高等学校総合体育大会 結果（一部抜粋）

【釧根支部予選会】

陸上

・男子砲丸投げ
3 M 板垣 直人 10 m 2位
2 M 小田 徳馬 12 m 86 1位
・男子円盤投げ
2 M 小田 徳馬 31 m 67 5位

・男子走高跳び
3 E 阿部 圭祐 1 m 65 5位
2 D 岡久 拓人 1 m 80 1位
・男子三段跳び
2 D 岡久 拓人 12 m 33 5位

・男子やり投げ
2 M 若木 春二 44 m 99 5位

バレーボール

・男子 第3位

柔道

・男子個人
66 kg以下級 2 D 押野見 輝 3位
73 kg以下級 2 J 半澤 知季 3位
90 kg以下級 3 D 相津 琢磨 準優勝
100 kg以下級 1-5 長田 陽紀 準優勝
100 kg超級 3 A 森 将介 3位

バドミントン

・学校対抗戦男子 第3位
・個人戦シングルス男子 2 D 久保 慶幸 第3位

空手

・男子団体組手 第3位
・男子個人組手 3 A 久保 大 第3位

空手

・男子個人組手 3 A 久保 大 初戦敗退

バドミントン

・個人戦シングルス男子
2 D 久保 慶幸 2回戦突破（北海道ベスト8）

陸上

・砲丸投
2 M 小田 徳馬 13 m 08（決勝7位）
3 M 板垣 直人 10 m 76

・円盤投
2 M 小田 徳馬 31 m 55

・走り高跳
2 D 岡久 拓人 1 m 92（決勝3位）全国大会出場
3 E 阿部 圭祐 1 m 75

・やり投
2 M 若木 春二 44 m 01

自転車

・4000m追い抜き 第3位
・4000m速度競争 2 M 釜野 幹康 第3位
・チームスプリント 準優勝
・ポイントレース 2 M 釜野 幹康 第3位
・学校得点 第3位

道内大学と道内4高専が学術交流協定を締結しました

函館工業高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校、釧路工業高等専門学校及び旭川工業高等専門学校（以下「道内4高専」という）は、学術交流において広く相互協力することにより研究や教育の推進に寄与することを目的に、以下の各大学と協定を締結しました。

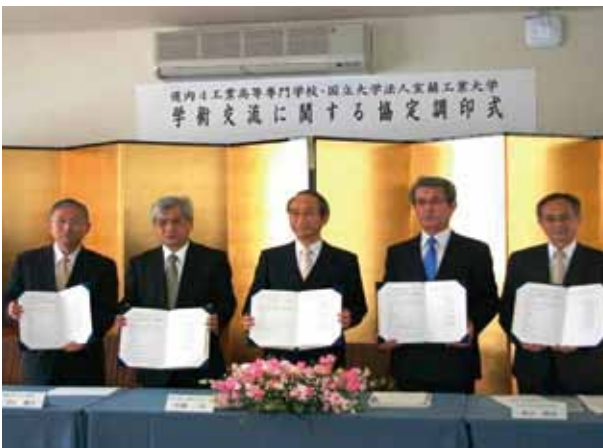
- ・室蘭工業大学
平成22年3月29日(月)
公立はこだて未来大学
平成22年4月23日(金)
- ・北見工業大学
平成22年5月25日(火)

道内4高専は、平成21年12月に北海道大学とも協定を結びましたが、国内外の大学等と積極的に連携・交流を進める室蘭工業大学や情報科学における先端技術を有する公立はこだて未来大学、「人を育て、科学技術を広め、地域に輝き、未来を拓く」を理念に掲げる北見工業大学の各大学と協力体制を敷くことで、札幌・室蘭・北見・函館・苫小牧・旭川・釧路という北海道のほぼ全域にわたる地域に位置する高等教育機関としてさらなる連携の強化が図られます。これにより、各大学と各高専相互の教育向上に資することが可能となり、北海道地域の社会・経

済・文化の発展にこれまで以上に尽力することが期待されます。

今後は、各大学と道内4高専による連絡協議会を持ち、相互の教育・研究の交流を促進し、北海道における産業の高度化、地域人材の育成への貢献を目指します。

左…室蘭工業大学との協定調印式
左下…はこだて公立未来大との協定調印式
下…北見工業大学との協定締結式



各種大会で好成績!

トランポリン同好会

5月15・16日に釧路市の湿原の風アリーナで開催された第26回北海道ジュニアトランポリン大会において、本校トランポリン同好会1年4組 小林行幸君が4位に入賞しました。

小林君は今大会の結果を受けて、8月に秋田県大館市で行われる第35回全国高等学校トランポリン競技選手権大会に出場します。

また、6月5・6日に江別市の野幌総合運動公園体育館で行われた第38回北海道学生体操競技・新体操・トランポリン競技選手権大会では、同同好会電子情報システム工学専攻1年 熊山彩子さんが、トランポリン競技の中でも特に難易度の高いAクラスに出場、規定+自由+難度の総得点53.6点をとり、3連覇を狙っていた昨年度の優勝者に1.1点以上の大きな差を付けて優勝しました。

熊山さんは、8月27日(土)29日に石川県金沢市で行われる第45回全日本学生選手権大会(インカレ)への出場も予定して



賞状とトロフィーを手に、優勝を喜ぶ熊山さん
おり、昨年度のオリンピック参加でCクラス準優勝を塗り替えたことでした。

津波警報発令！あなたは避難しますか？

建築学科 准教授 加藤 雅也

土曜日の夜、のんびりとテレビを見ていたら突然の大きな地震。立つこともできないような大きな揺れが止まりホッとしたら画面には「津波警報」の文字。さあ、あなたは避難しますか？

1. 津波と Tsunami

「津」とは港を意味し、津波の本来の意味は港に襲撃する大きな波のことです。昔の港は岬が天然の防波堤となっているような湾奥に設けられてきましたが、そのような場所にも襲ってくる大きな波があり、台風や低気圧によるものを「風津波」、地震や地滑りなどによるものを「地震津波」と呼んでいました。現在は前者を「高潮」、後者を「津波」と区別しています。一方、「Tsunami」は「津波」がそのまま国際語になったもので、1946年のアリューシャン津波のころから国際的に研究者の間で使われ始め、1960年のチリ地震による津波で定着しました。

2. 津波の発生・伝播

津波の発生原因には、海底火山の噴火、陸域からの土砂流入、隕石の衝突などがありますが、大部分の津波が海底地震による海底面の変動によるものです。海底面の隆起（または沈降）に伴って、海水面が上昇（または下降）し、重力を復元力として波が発生します。発生した波は四方に伝播しますが、その伝播速度（津波の波速といえます）は、 \sqrt{gh} で計算することができます。ここで、 g は重力加速度、 h は水深です。例えば太平洋の平均水深が約4,000mで、重力加速度が 9.8m/s^2 であることから、太平洋上の津波の波速はおおよそ $\sqrt{4,000 \times 9.8} = 198\text{m/s} = 713\text{km/h}$ となります。また、南米のチリと日本の距離は約17,000kmありますから、チリ沖で発生した津波は太平洋をジェット機並みのスピードで横断し、日本に到達するまで約24時間かかることがわかります。実際に、2010年2月27日午前3時半（日本時間午後3時半）すぎ、南米チリでマグニチュード8.7程度の地震が発生し、日本では28日午後、太平洋側の沿岸地域で1mを超える津波が観測されました。

陸域に遡上した津波はもはや波というよりは洪水と同じで、津波の規模や地形によっても変わりますが、その速度はおおよそ30km/hほどです。ちなみに、北京オリンピック100m金メダリストのウサイン・ボルト選手の記録は9.69秒で、時速にすると37km/hです。

3. 津波の恐怖

水深50cmといえば大人の膝くらいまでの水位です。もしこの水が動いていない場合は、水平方向に幅1mあたり1,225Nの力（125kgの物体を持ち上げる力に相当）が作用します。さらに津波のような速い流れになると、静止している場合の数倍の力が作用します。わずか50cm程度の津波でも、十分に人を押し流す力があるのです。さらに、津波の力は津波の高さの2乗に比例しますから、津波の高さが大きくなるとその力は飛躍的に大きくなります。過去の津波による建物被害の調査などから、津波の高さが2mを超えると木造家屋はほぼ全壊、5mを超えると鉄筋コンクリート造でも破壊されることが分かっています。

また、津波の怖さは単に水の怖さだけではなく、津波によって生じたさまざまな漂流物が人や建物と衝突することによる被害も多いのです。

4. 津波の予測

日本では、地震が発生し、津波の心配がない場合は、気象庁がそのことを地震情報に含めて発表します。もし津波の心配がある場合は、地震発生から約3分以内に、気象庁から津波警報・注意報や津波情報等が発表されます（表1参照）。ところで、この津波の予測はどのように行われているかご存知ですか？津波のシミュレーションには時間がかかるので、地震が発生してから計算するのではとても3分以内に警報・注意報を発信することはできません。そこで、あらかじめ、さまざまな震源地、地震の大きさなどを想定して計算した数十万種類の計算結果（予測値）から、発生した地震に最も状況の似たケースを選び、そのデータを使っているのです。したがって、地震発生直後の速報値（津波の大きさや到達時刻）の精度は決して高いものではなく、外れる場合があります。できるだけ早く危険を知らせることを優先しているのです。もちろん、発生した地震に関する詳細な情報が得られると、予測を更新してデータの修正や警報・注意報の切り替え、解除の判断が行われています。なお、最新の津波研究の分野では、GPSを利用した観測データ等も利用して、より早く、より正確な津波予測を発信できるシステムの開発が行われています。

5. 防災と減災

日本はこれまで津波に対して、津波防波堤、堤防、水門などの構造物を設置することで「防災」に努めてきました。しかしながら、近年では、自然災害に対してこのようなハードウェアによる対策には限界があるとの認識から、たとえ被災しても被害を最小限に止める「減災」のための工夫が積極的に考えられるようになってきました。津波の来襲が予想されている沿岸自治体の多くで、津波ハザードマップ（注1）が作成、配布され、それに基づいた避難訓練などが行われています。また、津波に対する注意喚起や避難場所に関する標識の設置も行われています（写真1、2参照）。日頃から、自分の生活圏のどこに避難場所があり、どのように避難すればよいか考えておくことが必要です。さらに、日常の備えがあっても、実際に津波の危険にさらされた時に、避難しなければ意味がありません。これは減災の観点から大きな課題となっています。内閣府と総務省消防庁のアンケート結果によれば、今年2月のチリ地震によって大津波警報が出された青森県、岩手県、宮城県、36市町村の中で避難指示・勧告が出された地区の住民の避難率は37.5%だったそうです。東北地方は何度も大きな津波被害を受けて比較的津波に対する意識の高い地域であり、1960年には今回と同様なチリ地震によって大きな津波被害を経験しているにもかかわらず、避難率はこんなに低いのです。全国的にはさらに低く、市町村が避難所等で避難を確認した人数から求めた避難率は、大津波警報発表地域で7.5%、津波警報発表地域で2.8%だったそうです。今回はたまたま津波高が低かったので大きな被害にはつながりませんでしたが、1960年のときと同じくらい大きな津波が来ていたらと思うととても怖いことです。

ここまで津波についてのお話を読んでもいただきありがとうございます。さて、あらためて伺います。津波警報発令！あなたは避難しますか？



（注1）津波ハザードマップ

今後予測される津波に対して、浸水域、浸水深、避難場所、避難経路などを示した地図。例えば釧路市の場合、釧路市のホームページから、市役所のしごと > 防災・消防・救急 > 防災 > ハザードマップ（津波・洪水・土砂・火山）で見ることができる。

表1 津波警報・注意報と津波情報（気象庁、<http://www.jma.go.jp>）

津波警報・注意報の種類		解説	発表される津波の高さ
津波警報	大津波	高いところで3m程度以上の津波が予想されますので、厳重に警戒してください。	3m、4m、6m、8m、10m以上
	津波	高いところで2m程度の津波が予想されますので、警戒してください。	1m、2m
津波注意報		高いところで0.5m程度の津波が予想されますので、注意してください。	0.5m
津波情報			
種類		内容	
津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報		各津波予報区の津波の到達予想時刻や予想される津波の高さを発表します。	
各地の満潮時刻・津波の到達予想時刻に関する情報		主な地点の満潮時刻・津波の到達予想時刻を発表します。	
津波観測に関する情報		実際に津波を観測した場合に、その時刻や高さを発表します。	

参考

気象庁 / www.jma.go.jp
内閣府防災情報のページ / <http://www.bousai.go.jp>
釧路市 / www.city.kushiro.hokkaido.jp
首藤伸夫ほか（2007）：津波の事典、朝倉書店。
津波研究小委員会（2009）：津波から生き残る その時までには知ってほしいこと、土木学会。



学校行事予定

7月24日(土)	オープンキャンパス(～25日(日))
7月31日(土)	閉寮日
8月1日(日)	夏季休業(～27日(金))
8月21日(土)	全国高専体育大会(～25日(水))
8月29日(日)	開寮日
9月16日(木)	前期末試験(4年生)(～24日(金))
9月24日(金)	前期末試験(4年生以外)(～30日(木))
9月27日(月)	4年見学旅行(～10月3日(日))
10月22日(金)	高専祭準備
10月23日(土)	高専祭(～24日(日))
10月23日(土)	保護者懇談日
10月24日(日)	高専ロボコン北海道地区大会(旭川)
10月25日(月)	高専祭後片付け
10月26日(火)	臨時休講
11月1日(月)	保護者懇談期間(～5日(金))
11月3日(水)	授業参観日・保護者懇談会
11月21日(日)	高専ロボコン全国大会
12月7日(火)	後期中間試験(～10日(金))
12月23日(木)	閉寮日
12月24日(金)	臨時休講
12月27日(月)	冬季休業(～1月7日(金))
1月10日(月)	開寮日

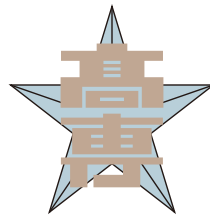
編集後記

「高専だより」もついに100号を迎えました。特集を組むため、過去に発行した高専だよりを読み返していましたが、釧路高専が築き上げてきた歴史の重みを感じずにはいられませんでした。今回のような記念すべき高専だよりの編集を手がけることができ、幸せに思います。最後になりましたが、ご多忙中にもかかわらず、記事執筆や写真提供等御協力いただいた全ての方に対し、御礼申し上げます。(田)





●裏表紙
 白黒印刷からカラー印刷へ
 移った平成8年(第54号)
 以降の高専だより写真



この冊子は再生紙を使用しています。

